

ラウンドアップ使用中止と

県産小麦増産を

吉儀敬子市議の一般質問①

吉儀敬子市議は、10日に4項目の一般質問を行い、

その中で除草剤ラウンドアップについて取り上げました。

モンサント社(アメリカ)

のグリホサートを含むラウンドアップを散布し悪政リンパ腫になったとして、サンプランシスコ地裁で3億ドルの損害賠償を命ずる判決が出される事態や、国際がん研究機関が「発がん性がある」と評価して以降、オーストリア始めとする世界の国々が使用禁止を決める中で、日本のみが輸入小麦の残留農薬基準を6倍に



一般質問する吉儀市議

緩めています。

農水省の輸入小麦の残留農薬検査で、アメリカ産の9割、カナダ産のほぼすべてから検出されており、検出される理由は、小麦の収穫直前に小麦そのものを枯らして収穫しやすくするためです。

吉儀議員は、市の公園や学校でのラウンドアップ散布の中止を求めたところ「市の管理する公園ではラウンドアップは使用していない。一部の学校で最小限

使用している」との答弁でした。

吉儀議員は、学校給食のパンは15年前から国産小麦を使用していることは評価するが、県産小麦の増産体制を県に働きかけることを要望するとともに、就学前の子どもが食べるパンについて国産小麦のパンを使用するよう働きかけるべきと主張しました。

船木忠子育て部長は「輸入小麦の残留農薬安全性は確保されており、現時点では国産小麦使用を指導することは考えていない」と答弁。「就学前の子どもの健康を考えるべき」と重ねて要望しました。

無低診制度を

お知らせ文書に掲載する方向

田中はじめ市議の一般質問①

田中はじめ市議は10日の

一般質問で、生活に困窮する市民への支援や松江城に関する市民の声等6項目について執行部の見解を質

しました。

生活に困窮する市民への支援について、まず、昨年

に続く猛暑の中、電気や水道などを料金滞納で機械的に止めないよう連携を求めた国の様々な通知に対する市の対応を質しました。

資源エネルギー庁が電力

会社の社長あてに出した通知では、「料金未払いによる供給停止に関し、福祉部局と連携協力」を求めていることを指摘し、中国電力から連携協力の申し出があったかを確認したところ、協



一般質問する田中市議

議が持たれたことはあつたが、連携協力の取り決めはないことが明らかになりました。

水道の供給では、今年1月8月、滞納による供給停止は405世帯(事業所26件、個人宅379件、延べ586件)、停水日数は、1日が127件、10日までが161件、11日以上が117件に上ることが分かりました。川原水道局長は、「従来、滞納整理に力

点を置いてきた収納対策会議に、生活困窮者支援の視

市民要求実現に向けて

取り組みをスタート

松江市委員会では、毎年11月末には、地域や各種団体の要望を受け付けて翌年度の予算要望を行い、正月明けには、市長名での回答を受けていました。

昨年は86項目の要望を11種類に分けて提出しました。新年度で実現したものもありますが、持ち越しとなつているものや意見が合わないものもたくさんあります。

今年度は、避難所となる体育館へのエアコン設置、子どもの医療費無料化の拡充、有害鳥獣対策の拡充、国保の滞納者への丁寧な対応などで今年度中の実現や今後に向けての市の考え方を確認したいと考えています。

もう原発は動かさない

6日(金)、県庁前にいて、第276回金曜日トーク&パレードが行われました。

最初、岩本見司代表が、

「今後、島根も統こう」などのトークが続きました。

その後、参加者は中国電力島根支社までパレードし、市民に原発ゼロのアピールを行いました。



金曜日トーク&パレード

松江市委員会では、11月末の来年度予算要望の提出に向けて、皆さんからの要望を受け付けています。その他、生活相談などは随時相談に応じています、お困りなことなど何でもご相談ください。

党松江市委員会

委員長 橋 祥朗

参加者からは、「乾式貯蔵移行が報道され、敷地内への中間貯蔵、永久貯蔵になるのでは。」「福島第2原発の廃炉決定で、福島県では原発ゼロが実現した。島根も統こう」などのトークが続きました。